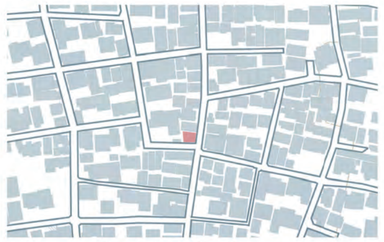
街に棲み、街と暮らす家

角地からの夜景。1 階の街のプラザでは、座談会や映画鑑賞など地域に開かれたパブリックなスペースとなっている。

プライベートスペースからパブリックスペースを見る。街とのつながりを感じ、開放感のある庭空間をつくる

北東側からの夕景。この時間帯に下校する子どもたちを照らす街灯となる。

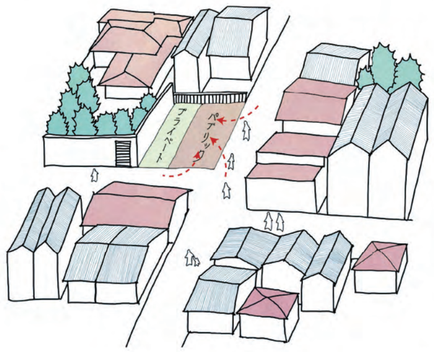
01_Site



所在地：東京都世田谷区松原 5-20-18
用途：第一種中高層住居専用地域
想定する家族構成：夫婦

分析・計画：敷地は世田谷区松原の閑静な住宅街の一角で、都心の住宅地らしく、住宅の壁面が隙間なく続き、どこか窮屈さと寂しさを感じた。そんな都心ならではの敷地に対して、私たちは大きな抜け、いわゆる街に開かれた住宅が必要であると考えた。これは街並みを明るく照らすだけでなく、近隣住民との交流を促すきっかけを創出してくれる。

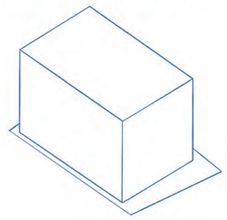
02_Plan



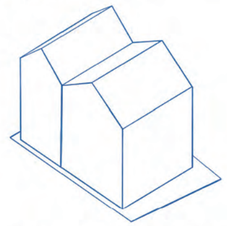
敷地を南に面する道路に対して縦に 2 分割し、一方をベッドルーム、水回り、収納、テラスなどをプライベートスペースとし、もう一方をキッチン、街の広場、ダイニングなどをパブリックスペースとした。プライベートスペースの四角い開口部からパブリックスペースを眺めると、パブリックスペースを介して、街とつながり、街がひとつの庭のように感じる。一方でパブリックスペースからプライベートスペースを眺めると街から自分の家を眺めているような気になる。このふたつの閉ざされた空間と街に開けた空間がひとつの住宅の中に混在することで、長い時間過ごす夫婦とって、ふたつの空間に行き交う視線の変化や、街と共に暮らすことで、街の変化と共に日々の暮らしに変化を与えてくれるといった住んでいて飽きない住宅を提案した。

03_Diagram

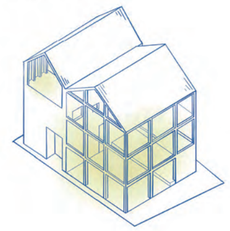
①従来の閉ざされた都市型住宅



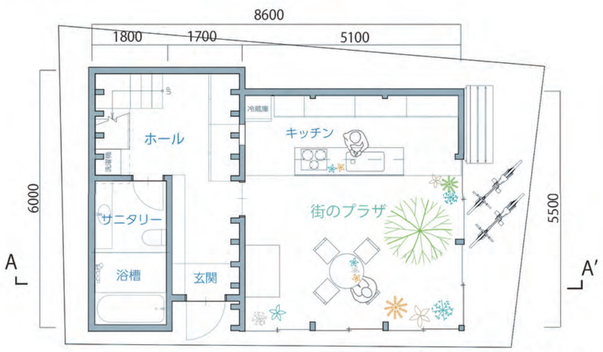
②プライベート空間とパブリック空間に分ける



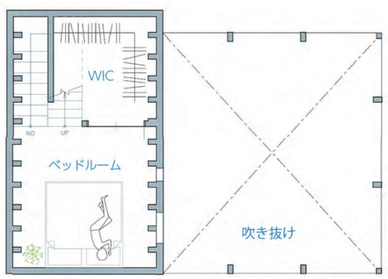
③パブリック空間を開放し、街を灯す



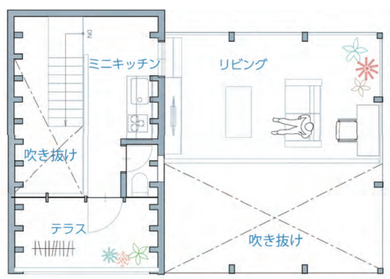
従来の閉ざされた都市型住宅を自ら街へ開放することにより、
街とのつながりをつくり、地域の拠り所としての機能を果たす。



1Floor Plan　Scale=1:100



2Floor Plan　Scale=1:100



3Floor Plan　Scale=1:100

敷地面積：75.45 ㎡
建築面積：51.89 ㎡
延床面積：89.65 ㎡
1F 床面積：47.84 ㎡
2F 床面積：18.70 ㎡
3F 床面積：23.11 ㎡

A-A′ Section　Scale=1:100